

村上龍作『69 sixty nine』におけるベビー・ブーマーの分析

リオ・プリナタ

0542021



マラナターキリスト教大学

大学部日本語学科

バンドン

2009

序論

文学作品には一般に時代背景というものがある。作家村上龍はこの時代背景に添って社会において起こった現象を文学的描写するのである。従って読者は作家のつくりあげた作品を読むことによって当時起こった現象を知ることができるのである。

村上龍の作品に『6 9 sixty nine』という小説がある。この作品は 1960年代日本で起こった現象、つまりベビー・ブーマーを主題しているものである。

本論文は、なぜベビー・ブーマーという現象が起こったか、また、ベビー・ブーマー現象が『6 9 sixty nine』の登場人物にいかなる、影響を及ぼしているかを研究分析するのが目的である。分析するにあたっては社会的アプローチを使うことにする。

本論

分析を進める前に、まずベビー・ブーマーについて述べることにする。

ベビー・ブーマーというのは、戦後（第二次世界大戦後）に生まれた人間のことを指すのである。この時代は世界的に経済成長がいじるしくく出生率も高くなる時代である。また、この時期では、ロック音楽、キャンパ

ス・バリケード、大フェスティバル等に代表された西洋文化の浸透が盛んに進んだ時代でもある。歴史的に見ても、この時期は波瀾万丈の時代である。この時代では、ベトナム戦争（1957－1975）が勃発し、ケネディ米大統領（1963）、マーティン・ルーサー暗殺（1968）が起こったのである。そして、テレビや新聞やニュースなどのマス・コミュニケーションが普及したので、人々は、内外の情報を簡単かつ迅速に手に入れることができる時代に突入して。

ベビー・ブーマーは、社会学的に言うカラニター・カルチャー、つまり自然への回帰を主張し、伝統制度ほど既成の価値観に縛られ社会生活を否定する集団と深く関わっている。このカラニター・カルチャーは、ベビー・ブーマーの指揮の下でさまざまな国で起こっていた。例えば、アメリカではラードストック・コンサートを実施し、そこで、反ベトナム戦争、反人種差別、男女平等などを訴えるのである。

一方日本では、このカラニター・カルチャーは学生たちによって行われた。この時、日本の学生は全学連という連合を形成し、大学側の行った汚職を批判し、無益な教育活動に反対するのである。

『69 sixty nine』に登場するヤザキとアダマは、「ランボー」（フランスの詩人）のある詩を通して知人となる。二人が共感したその詩は次のようなものである。

見つけたぞ、
何を？
永遠を、
それは太陽に溶ける海だ。¹

二人はやがて全学連に入り、指導者的な立場になり自分の学校（北高）をバリケード封鎖をし、校舎の壁に「ベトナム戦争反対、「大学教育制度」を批判する落書をするのである。しかし、彼らが実施した最も大きなイベントは、「モーニング・エレクション・フェスティバル」(Morning Erection Festival)である。当フェスティバルでは「言論の自由」を訴へ、ロック・バンドは言いたいことを音楽を通しては言えるし、政治的なことを言いたい学生たちは、ベトナム戦争反対し、独裁的な学校教育批判などをパンフレットを通して訴えていった。

これらの学生運動は、当時の東京大学の安田行動事件をはじめ、日本大学のバリケード事件などに発展したものである。

作者自身が次に言うように、『69 sixty nine』に描かれた文章、当時の日本の社会で実際に起こったことである。

この本は、一九六九年に、高校生だったわたしのまわりで起こったことの一部を書いたものだ。
一九六九年に生まれた人々は、ひょっとしたら今（一九八七年五月）高校生なのではないだろうか？
...

¹ Murakami, Ryu. 2007.69.Tokyo : Kodansha International, Ltd. hal 15

この小説に登場するのはほとんど実在の人物ばかりだが、当時楽しんで生きていた人のことは良く、楽しんで生きていなかった人（教師や刑事やその地の大人達、そして従順でダメな生徒達）のことは徹底的に悪く書いた²。

結論

村上龍『6 9 sixty nine』におけるベビー・ブーマー、ヤザキとアダマという二人の典型的な若者の行動を分析してみた結果、次の結論を引き出すことができる。

ヤザキは、北高のバリケード封鎖の指導者になるとマスゲームの練習を反対するとベトナム戦争反対する。

アダマは、ランボーのことが好きと、ゲバラのことも好き、バリケード封鎖をするとマスゲームの練習も反対する。

しかし、ベビー・ブーマー現象は、日本において、情報社会の発達、経済などの高度成長期と関連性がある。1998年、インドネシアにおいても学生運動がジャカルタで勃発した。インドネシアの場合は、政治的汚職に反対する若者達の暴動である。この『6 9 sixty nine』という本に描かれた二人の登場人物の行動分析を、一読していただきたい。現在の若者にはないなにかを感じとれるはずである。

² Murakami, Ryu. 2007.69.Tokyo : Kodansha International, Ltd. hal 242

DAFTAR ISI

LEMBAR PENGESAHAN.....	ii
PERNYATAAN ORISINALITAS LAPORAN PENELITIAN.....	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI LAPORAN PENELITIAN.....	iv
KATA PENGANTAR.....	v
DAFTAR ISI.....	x
BAB I PENDAHULUAN.....	1
1.1. Latar belakang masalah.....	1
1.2. Pembatasan masalah.....	5
1.3. Tujuan penelitian.....	6
1.4. Metode penelitian.....	6
1.5. Organisasi penulisan.....	9
BAB II <i>BABY BOOMER</i>	10
2.1. Definisi <i>Baby Boomer</i>	10
2.2. Sejarah <i>Baby Boomer</i>	10
2.3. Hubungan <i>Baby Boomer</i> dengan <i>Baby Boom</i>	14
2.4. Ciri-ciri dan karakteristik <i>Baby Boomer</i>	16
2.5. Akibat yang ditimbulkan <i>Baby Boomer</i>	18
2.6. <i>Baby Boomer</i> di negara-negara barat.....	19
2.7. <i>Baby Boomer</i> di Jepang.....	21

2.8. Komparasi <i>Baby Boomer</i> di negara-negara barat dan di Jepang.....	26
BAB III <i>BABY BOOMER</i> DALAM NOVEL “69”.....	28
3.1. Hubungan antara <i>baby boomer</i> di dunia nyata dan novel “69”	28
3.1.1. Tiga kelompok organisasi oposisi di <i>Kita Kou</i>	31
3.1.2. Konser musik folk yang menentang perang.....	34
3.1.3. Markas kelompok politik <i>Kita Kou</i>	36
3.2. Barikade <i>Kita Kou</i> oleh ‘Kelompok <i>Vajra</i> ’	38
3.3. Pemboikotan latihan upacara.....	44
3.4. 「モーニング・エレクション・フェスティバル」 (<i>Morning Erection Festival</i>) yang diadakan oleh ‘Iyaya’	47.
3.5. Yazaki yang menentang perang Vietnam.....	52
3.6. Adama yang dipengaruhi oleh penyair dan kaum pembebas sosialis	54
BAB IV KESIMPULAN.....	57
SINOPSIS.....	xii
DAFTAR PUSTAKA.....	60
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	xvii